

村上康成の世界展

うみ・やま・かわに抱かれて
— 絵本作家のワイルド・ライフ・アート —

展覧会名:	村上康成の世界展 うみ・やま・かわに抱かれて—絵本作家のワイルド・ライフ・アート—
会期:	2024年6月15日[土]~8月4日[日]
会場:	佐野美術館
開館時間:	午前10時~午後5時(入館の受付は午後4時30分まで)
休館日:	木曜日
入館料:	一般・大学生1,100円 小・中・高校生550円 <small>※8月2日(金)は創立者・佐野隆一翁の生誕を記念し入館無料 ※土曜日は小中学生無料</small>
主催:	佐野美術館、三島市、三島市教育委員会、NHKエンタープライズ中部
後援:	静岡県教育委員会
助成:	三島信用金庫
協賛:	伊豆箱根鉄道株式会社
企画協力:	刈谷市美術館
協力:	絵本塾出版、教育画劇、キングレコード、くもん出版、公益財団法人日本野鳥の会、 公益社団法人日本キャンプ協会、佼成出版社、講談社、小峰書店、Sunf Music、小学館、 鈴木出版、チャイルド本社、童心社、徳間書店、農山漁村文化協会、ひかりのくに、 ひさかたチャイルド、PHP研究所、BL出版、フレーベル館、ポプラ社、理論社

展覧会の趣旨

佐野美術館は、2024年6月15日[土]から8月4日[日]の期間、「村上康成の世界展 むらかみ やすなり うみ・やま・かわに抱かれて—絵本作家のワイルド・ライフ・アート—」を開催します。

幼いころから川に親しみ「水ぎわ族」を自認する自然派アーティストの村上康成。1983年に『ピンク、ぺっこん』で絵本デビューし、約230冊の絵本を生み出してきました。

本展は、世代を超え愛されている「ヤマメのピンク」シリーズをはじめ、初期から最新作『くまくんです。』までの絵本原画、エディトリアル、タブローなど、約230点を紹介します。

豊かな自然に抱かれた、村上康成の創作世界を存分にご堪能ください。

展覧会のみどころ

本展のメインビジュアルは、「この星の上で」シリーズとして刊行された最新作『くまくんです。』の表紙原画です。草むらから現れきよんとこちらを見るくまくんの様子は、作家がヤマメ釣りでお昼におにぎりを食べていたときに会った、ツキノワグマの子の再現です。

本作を含む絵本原画の章では、41年にわたる創作活動の中から46作品の原画を展示いたします。自然に囲まれて育った村上康成が描き出す自然界のリアリティーが、シンプルな色と形、余白を生かした画面構成、躍動感のあるページ展開の中で鮮やかに輝きます。

近年特に力を入れ制作されているタブローもおおきなみどころです。絵本に登場する生きものたちが絵画作品として描かれています。綴られた一冊をめくっていくことで展開する絵本とは違った、独自の表現への挑戦にご注目ください。

わたしたち人間も自然の一員であることを語りかける村上作品。原画やタブローと向き合ったときに、みなさんが何を感じるか、自身の発見もぜひ楽しんでください。

展覧会の主なイベント

◆村上康成さん来館記念イベント サイン会 6月15日[土]

広報用画像

本展の紹介記事等を掲載される場合、1～7の画像をデータでご提供できます。電話またはメールでご連絡ください。

※本展紹介以外での使用、本展終了後の使用、二次利用はお断りします
※画像使用の際に、展覧会名、会期、会場、作品クレジットを必ずご記載ください



1.



2.



3.



4.



5.



6.



7.

1. 『くまくんです。』表紙原画 2023年
2. 『ピンク、べっこん』原画 1983年 刈谷市美術館蔵
3. 『くじらのパース』原画 2008年
4. 『石のきもち』原画 2010年 刈谷市美術館蔵
5. 『村上康成のイラストエッセイ 水ぎわの珍プレー』原画 2018年
6. 『おおきくなったら きみはなんになる?』原画 2018年
7. 『リュックをしょって』原画 2019年

お問い合わせ

佐野美術館 広報グループ 深沢

〒411-0838 静岡県三島市中田町1-43 TEL 055-975-7278 FAX 055-973-1790

URL <https://www.sanobi.or.jp/> EMAIL koho@sanobi.or.jp